


整理番号	HT27028	分野	生物、農学	(キーワード: 川、魚、水生昆虫)
------	---------	----	-------	-------------------

## 宮城教育大学

### サケ科魚類の回遊の謎を解こう

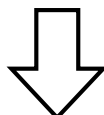
先生(代表者)	棟方 有宗(むなかた ありむね)教育学部・准教授			顔写真
自己紹介	東京大学大学院博士課程修了。専門は、サクラマス <small>(付)</small> の回遊行動のメカニズムの研究。ここ数年は、オレゴン州立大学 <small>(付)</small> においてギンザケやキングサーモンの実験も行っている。			
開催日時・主な募集対象	平成 27 年 10 月 3 日 (土)	(対象)	小学 5・6 年生	(人数) 20 名
集合場所・時間	水産総合研究センター増養殖研究所	(集合時間)	9:30	
開催会場 (集合場所)	住所: 〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3 アクセスマップ: <a href="http://www.fra.affrc.go.jp/access/nikko/">http://www.fra.affrc.go.jp/access/nikko/</a>			
<b>内 容</b>				
日本のサケの仲間(サケ類)の研究が行われている水産総合研究センター増養殖研究所(栃木県日光市)で、サクラマスなどのサケ科魚類の回遊行動に関する研究について、体験活動を交えながら学習します。授業では、研究所で飼育されているサケの仲間の特徴を研究者が解説したり、実際の研究が行われている実験水路でサケの仲間達の行動を観察しながら、小型発信器や分析機器などの最新の調査機器を用いた研究活動を体験します。また、隣接する中禅寺湖や湯川のフィールドでは産卵のために湖から遡上した親魚の採捕施設等を観察します。				
<b>スケジュール</b>			<b>持 ち 物</b>	
9:30~9:45 受付(水産総合研究センター増養殖研究所)			筆記用具、長靴、防寒着、雨 カッパ、着替え	
9:45~10:00 開講式 (スタッフ紹介、科研費の説明)				
10:00~10:45 体験①研究水面におけるサケ類の観察と給餌体験			<b>特 記 事 項</b>	
10:45~12:00 実験①実験水路における PIT タグによるサケ類 の行動追跡(途中 10 分休憩)				
12:00~13:00 昼食 研究者とともに昼食				
13:00~14:30 実験② 中禅寺湖におけるサケ類の生息環境(水質・環境)の観測			小学5、6年生のお弁当は、 こちらで用意します。 研究所はいろは坂の上 にあり、標高が高いので防寒着 を忘れずに持ってきて下さ い。	
14:30~15:30 体験②中禅寺湖流入河川におけるサケ遡上施設の観察 (途中 10 分休憩)				
15:30~15:45 クッキータイム・質疑応答				
15:45~16:00 終了式(未来博士号授与式、アンケート、記念撮影)				
16:00 解散				

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	宮城教育大学・棟方有宗
住所：	〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 149
TEL 番号：	022-214-3414
FAX 番号：	022-214-3414
E-mail：	<a href="mailto:munakata@staff.miyakyo-u.ac.jp">munakata@staff.miyakyo-u.ac.jp</a>
申込締切日：	平成 27 年 9 月 18 日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
棟方有宗	H16-H18	若手 (B)	16780132	サクラマスの降河回遊行動におけるストレスホルモンの役割
棟方有宗	H16-H18	基盤 (C)	24580257	タイヘイヨウサケ属サクラマスの降海回遊期の若齢化とその要因の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。